

(解答番号 1 ~ 48)

I 次の文章を読み、下の問い(問1~問6)に答えよ。

オリエントとは、ティグリス川・ユーフラテス川流域のメソポタミアと、ナイル川流域のエジプトおよびそれらの周辺地域から形成される地域の総称である。これらの地域には古くから文明が成立し、やがて文字が発明されていた。

メソポタミアでは、前2700年頃までにシュメール人によって都市国家が形成された。彼らがつくった(1)は多くの民族に広まり、(1)が創まれた粘土板が後年数多く発掘された。このうち「ギルガメッシュ叙事詩」で描かれた洪水説話は、ユダヤ教やキリスト教の教典にも影響を与えたとされる。

一方、古代エジプトでは前3000年頃までに統一王国が形成され、多数の王朝が交替した。特に繁栄したのは、古王国・中王国・新王国の3時代である。古代エジプトでは神聖文字(ヒエログリフ)や神官文字(ヒエラティック)、民衆文字(デモティック)などの文字が用いられた。ヒエログリフは碑文や墓室、石棺などに刻まれたほか、ミイラとともに埋葬された粘土書「(2)」などにも記された。なお、18世紀末にフランスの(3)が行ったエジプト遠征の際に見えられたロゼッタストーンは、ヒエログリフ解読の手がかりとなった。新王国滅亡後、エジプトにはナイル川上流に成立した(4)が遷出した。この王国は前670年頃にメロエに遷都し、エジプトのヒエログリフをもとにメロエ文字(未解読)をつくった。

東地中海沿岸では、セム語系民族の活動が活発となった。(5)ダマスカスを拠点とした(5)は、前1200年頃から内陸都市を結ぶ中継貿易を盛んに行った。彼らを用いた文字は、(1)にかわってオリエント世界で広く用いられるようになり、アラビア文字など多くの文字の母体となった。一方、シドンなど地中海交易を独占した(6)を用いた文字はギリシア人に伝わり、アルファベットの起源となった。

オリエントの西に広がるギリシアの地中海沿岸では、オリエントの影響を受けた青銅器文明であるエーゲ文明が誕生した。クノッスを中心として築かれた(7)では、未解読の線文字Aが用いられた。また、ミケーネ・ティリンスなどを中心に築かれたミケーネ文明では、線文字Aを改良した線文字Bが用いられた。

問1 文中の空欄(1)~(7)にあてはまる最も適切なものを、次の①~④のうちからそれぞれ一つ選べ。(1)~(7)

- (1) ① 甲骨文字 ② 楔形文字 ③ 西夏文字 ④ パクバ文字
(2) ① 死者の書 ② マサ法典 ③ アヴェスター ④ リグ・ヴェーダ
(3) ① イヴァン4世 ② ヨーゼフ2世 ③ ルイ14世 ④ ナポレオン・ボナパルト
(4) ① マリ王国 ② インカ帝国 ③ クシュ王国 ④ アステカ王国
(5) ① ノルマン人 ② フン人 ③ ケルト人 ④ アラム人
(6) ① フェニキア人 ② アーリア人 ③ ヴァイキング ④ マジャール人
(7) ① ノヴゴロド ② クレタ文明 ③ インダス文明 ④ キエフ公国

問2 下線部(a)について、メソポタミアを支配した勢力に関して述べた文として適切でないものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(8)

- ① アムル人は、メソポタミアにバビロン第1王朝を建てた。
② バビロン第1王朝の爾法は復讐法を原則にしていた。
③ メソポタミアはアレクサンドロス大王の帝国の領域に含まれた。
④ メソポタミアは西ローマ帝国の支配を受けた。

1

問3 下線部(b)について、シュメール人に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(9)

- ① アンコール・ワットを築いた。
② 六十進法を用いた。
③ ハムラビ法典を制定した。
④ 平民会が設けられた。

問4 下線部(c)について、ユダヤ教に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(10)

- ① 万人司祭主義をとった。
② 首長法を定めた。
③ メッカ(マッカ)に神殿を再建した。
④ 選民思想を特徴とした。

問5 下線部(d)について、古代エジプトに関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(11)

- ① 古王国は、クフ王などによりピラミッドが築かれた。
② 中王国は、カイロを首都とした。
③ 新王国は、ホニエ戦争でアテネに勝利した。
④ 太陽神アッラーなどが信仰された。

問6 下線部(e)について、ダマスカスの歴史に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(12)

- ① ウマイヤ朝の都とされた。
② 後にコンスタンティノープルと改称された。
③ 西ゴート王国の首都となった。
④ ゲルマン人の大移動の一拠点であった。

2

文系前期 世界史

II 次の文章を読み、下の問い(問1~問6)に答えよ。

220年、後漢が滅亡すると、中国は三国時代をむかえた。280年、晋(西晋)が(1)を滅ぼしたにより中国は統一され、三国時代は終わった。しかし、内乱や内紛によって西晋が混乱に陥ると、華北には五胡と総称される遊牧諸民族による諸政権が成立した。一方、西晋の皇族は江南に逃れて健康を都とする東晋を建てた。以後、江南には南朝と総称される短命な4つの王朝が次々と交替した。華北では、鮮卑の拓跋氏が4世紀後半に(2)を建て、5世紀前半には華北を統一した。第6代の(3)の時代には土地制度として均田制が施行され、この制度は北朝や隋・唐に受け継がれることとなった。また、この頃モンゴル高原では柔然が有力となり、(2)と対抗した。(2)は6世紀には東西に分裂し、以後、華北では北朝と総称される諸王朝が興亡した。三国時代から以上の南朝・北朝までの動乱期を、魏晉南北朝時代という。

6世紀末、北周の武帝であった(4)(楊堅)が即位し、隋を建てた。(4)は南朝の陳を滅ぼし、中国を統一した。隋は、内政では南北朝の諸制度を取り入れるとともに、官吏登用制度として(5)を創始したが、7世紀前半に滅亡した。隋は李淵(高祖)によって倒れ、唐が建てられた。唐は隋の諸制度を継承し、勢力圏を拡大して広大な領域を支配した。唐の文化は近隣諸国にも広がり、唐を中心とする東アジア文化圏が形成されることとなった。7世紀末、唐太宗(武徳帝)が皇帝になると、(5)官僚が重用されるようになった。8世紀前半に即位した(6)は備兵を用いる募兵制を採用し、辺境では節度使に軍団を指揮させ、内政の整備を進めた。ところが、(6)は晩年に楊貴妃を寵愛したため、楊貴妃の一族が政治の実権を握る事態に陥った。これに対して節度使は反乱を起こした。反乱が鎮圧された後も、各地の節度使は自立の傾向を強め、中央政府の統制は弱まった。9世紀後半になると、塩の密売人が起こした(7)が全国に広がり唐の権威は失われ、10世紀初めに唐は滅亡した。

問1 文中の空欄(1)~(7)にあてはまる最も適切なものを、次の①~④のうちからそれぞれ一つ選べ。(13)~(19)

- (13) (1) ① 夏 ② 呉 ③ 宋 ④ 高句麗
(14) (2) ① 元 ② 大越 ③ 北魏 ④ ウイグル
(15) (3) ① 宣統帝 ② 西太后 ③ 始皇帝 ④ 孝文帝
(16) (4) ① 文帝 ② 乾隆帝 ③ 煬帝 ④ 雍正帝
(17) (5) ① 九品中正 ② 科挙 ③ 殿試 ④ 郷挙里選
(18) (6) ① 劉邦 ② 玄宗 ③ 康有为 ④ 永楽帝
(19) (7) ① 太平天国の乱 ② 呉楚七国の乱 ③ 戊戌の政変 ④ 黄巢の乱

問2 下線部(a)について、後漢に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(20)

- ① 漢の一族の劉秀が光武帝となって建てた。
② 租・調・庸の税制を導入した。
③ 西班出身者が役人の大部分を占めた。
④ 孔穎達が「資治通鑑」を編んだ。

3

問3 下線部(b)について、三国時代の魏の位置として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(21)



問4 下線部(c)について、魏晉南北朝時代の文化に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(22)

- ① 郭守敬が道教団を組織した。
② 東晋の僧である義浄がインドにおもむいた。
③ 司馬遷が「史記」を記した。
④ 南朝では「文選」が編纂された。

問5 下線部(d)について、唐に関して述べた文として適切でないものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(23)

- ① 玄奘らがインドを訪れた。
② 律令に促った統治制度が整えられた。
③ 朱子学が成立した。
④ 李白や杜甫などの詩人が活躍した。

問6 下線部(e)について、同時代の唐の周辺諸国に関して述べた文として適切でないものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(24)

- ① 朝鮮半島では、新羅が朝鮮半島の大部分を支配した。
② 唐の影響を受けた天平文化が日本で花開いた。
③ チベットでは、吐蕃が建てられた。
④ 雲南では、金が勢力を広げた。

4

III 次の文章を読み、下の問い(問1～問6)に答えよ。

15世紀以降、ポルトガルやスペインをはじめとする国々が海外に進出するようになった。世界の諸地域が交易によって結びつけられたことで「世界の一体化」が始まり、社会や経済に変化がもたらされることとなった。また、イギリスやフランス、オランダなどの国々は東インド会社を設立し、アジアに進出していった。

ムガル帝国が勢力を失ったインドでは、18世紀に各地の地方勢力が台頭して争い、ヨーロッパの商業勢力もこの争いへ介入した。その結果、1757年の(1)でフランスを破ったイギリス東インド会社が、19世紀半ばまでにインド全域を支配下に入れることとなった。このイギリス東インド会社による植民地支配によってインド社会は大きく変容したため、イギリスに対する不満がだいに高まり、1857年にはインド大反乱(シパーヒーによる大反乱)が起こった。この反乱中にムガル帝国は滅亡し、反乱を鎮圧したイギリス本国はイギリス東インド会社を解散させ、1877年に(2)を皇帝とするインド帝国を成立させた。東南アジアにおいても、19世紀以降ヨーロッパの諸勢力が本格的な植民地化を進めるようになった。オランダは、強制栽培制度を導入して大きな利益をあげ領土を拡大し、20世紀初めまでにはほぼ現在の(3)にあたる地域を植民地化した。イギリスは、マレー半島やビルマ(ミャンマー)に進出した。1826年にはベンガルの港を海峡植民地に編成し、1895年にはマレー連合州を結成させた。ビルマでは、イギリスは3次にわたる戦争によってコンバウ朝を滅ぼし、ビルマをインド帝国に併合した。一方、16世紀以来フィリピンに進出していたスペインは、住民を(4)に強制改宗させた。1802年に反乱が成立し、(5)の冊封を受けていたベトナムでは、フランスが19世紀半ばから進出を本格化させ、1863年には(6)をも保護国とした。さらにフランスは、(5)にベトナムに対する宗主権を放棄させ、1887年にはベトナムと(6)をあわせてフランス領インドシナ連邦を成立させた。18世紀後半にラタコシン朝が成立したタイでは、(7)(チュラロンコン)のもとで近代化が推進され、植民地化の回避に成功した。このように、タイを除く東南アジアのほとんどの地域はヨーロッパの植民地とされ、以後、東南アジアでは植民地支配に抵抗する運動が展開されることとなった。

問1 文中の空欄(1)～(7)にあてはまる最も適切なものを、次の①～④のうちからそれぞれ一つ選べ。[25]～[31]

- 25 (1) ① アンボイナ事件 ② アンカラの戦い
③ 北方戦争 ④ ブラッシーの戦い
- 26 (2) ① エリザベス1世 ② ヴィクトリア女王
③ エカチェリーナ2世 ④ イサベル
- 27 (3) ① インドネシア ② パキスタン
③ バングラデシュ ④ ラオス
- 28 (4) ① プロテスタント ② カトリック ③ イスラム教 ④ ヒンドゥー教
- 29 (5) ① 宋 ② 明 ③ 清 ④ 中華民国
- 30 (6) ① シンガポール ② ハイチ ③ マカオ ④ カンボジア
- 31 (7) ① グライ=ラマ ② アウラングゼーブ
③ ラマ5世 ④ アッパース1世

問2 下線部(a)について、ポルトガルやスペインの海外進出に関して述べた文として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[32]

- ① バルトロメウ=ディアスは、喜望峯に到達した。
② ヴァスコ=ダ=ガマは、インド西岸に到達した。
③ スペインは、コロンブスの航海を支援した。
④ アメリカ=ヴェスプッチは、オーストラリアを発見した。

問3 下線部(b)について、17世紀のオランダに関して述べた文として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[33]

- ① ウェストファリア条約で独立が認められた。
② 東インド会社が日本とも交易を行った。
③ 北アメリカにルイジアナ植民地を建設した。
④ アフリカ南部ではケープ植民地を拠点にした。

問4 下線部(c)について、イギリス東インド会社のインド進出に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[34]

- ① イギリス東インド会社は、第3次アフガン戦争でフランスに敗れた。
② イギリス東インド会社は、ベンガルなど東部で徴税権を獲得した。
③ イギリス東インド会社は、シク王国との戦争に敗れた。
④ イギリス東インド会社の最大の収入源は、人頭税であった。

問5 下線部(d)について、インド帝国の時代(1877～1947年)に関して述べた文として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[35]

- ① イギリスは、民族運動の分断をねらってベンガル分割令を出した。
② イギリスは、すべてのヒンドゥー教徒にキリスト教への改宗を求めた。
③ インドでは、インド国民会議が結成された。
④ インドでは、全インドムスリム連盟が結成された。

問6 下線部(e)について、東南アジアの民族運動に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[36]

- ① インドネシアでは、スカルノを党首としてインドネシア国民党が結成された。
② ビルマでは、ホー=ミンがドンゾー(東連)運動を展開した。
③ フィリピンでは、コルテスがフィリピン革命を指導した。
④ ベトナムでは、ムスタファ=カマルが維新会を設立した。

IV 次の文章を読み、下の問い(問1～問6)に答えよ。

1945年、(1)会議で採択された国際連合憲章にもとづき、国際連合が発足した。安全保障理事会の常任理事国となった米・英・ソ・仏・中の5大国には強い権限が与えられ、冷戦期には拒否権が多く行使されることとなった。1947年、アメリカ合衆国大統領(2)は、ギリシアの共産主義化防止のため、ソ連勢力に対する(2)=ドクトリン(「封じ込め政策」)を提唱した。これを契機として、ヨーロッパにおける東西両陣営の対立が表面化した。アメリカ合衆国を盟主とする資本主義陣営と、ソ連を盟主とする社会主義陣営の間の緊張状態は、「冷戦」とよばれる。

ソ連では、(3)の死後にフルシチョフがソ連共産党第一書記となった。フルシチョフは(3)批判を行い、平和共存政策を掲げたため、(4)東欧諸国に衝撃を与えた。また、ソ連は1956年には日ソ共同宣言によって日本とも国交を回復した。一方、キューバでは、1959年に(4)の指導によってキューバ革命が起こった。アメリカ合衆国と関係が悪化したキューバは、社会主義宣言を行ってソ連に近づいた。1962年、ソ連がキューバでのミサイル基地建設に着手すると、アメリカ合衆国は海上封鎖を行いソ連の貨物船を阻止したため、米ソ間の緊張が高まった(キューバ危機)。最終的にソ連が譲歩したことによって戦争は回避され、以後核兵器制限の取り組みが進んだ。

その後、アメリカ合衆国では、1960年代半ばの(5)ジョンソン政権の時代に(5)への軍事介入を本格化した。(5)による戦費負担や、日本や(6)西欧の経済成長などの影響によって、1971年にアメリカ合衆国の貿易収支は赤字に転じた。これを受けて(6)大統領は同年にドルの金兌換停止を発表し、国際通貨体制は大きくゆがぐこととなった。その後、緊張緩和(デタント)が進展したものの、1970年代から「第2次冷戦」(新冷戦)とよばれる米ソ対立が深刻化した。しかし、1985年にソ連の指導者となった(7)が改革を始めると、ソ連の統制下にあった東欧諸国でも体制転換が進み、東欧社会主義圏は消滅した。そして、1989年に(7)はマルタ島沖でアメリカのブッシュ大統領と会談を行い、冷戦の終結が宣言されることとなった。

問1 文中の空欄(1)～(7)にあてはまる最も適切なものを、次の①～④のうちからそれぞれ一つ選べ。[37]～[43]

- 37 (1) ① サンフランシスコ ② ウィーン ③ ロンドン ④ パリ
- 38 (2) ① チャーチル ② ケネディ ③ レーガン ④ トルーマン
- 39 (3) ① レーニン ② ドレフュス ③ エリツフィン ④ スターリン
- 40 (4) ① カルロス1世 ② シモン=ボリバル ③ カストロ ④ ディアス
- 41 (5) ① ベトナム戦争 ② ルワンダ内戦 ③ 湾岸戦争 ④ 天安門事件
- 42 (6) ① アイゼンハワー ② アトリー ③ クリントン ④ ニクソン
- 43 (7) ① サッチャー ② ブラント ③ ゴルバチョフ ④ トロツキ

問2 下線部(a)について、ヨーロッパにおける東西対立に関して述べた文として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[44]

- ① 西側諸国は、北大西洋条約機構(NATO)を結成した。
② 東側諸国は、ワルシャワ条約機構(東ヨーロッパ相互援助条約)を設立した。
③ 西ドイツ政府は、ベルリン封鎖を行った。
④ ドイツ民主共和国(東ドイツ)が成立した。

問3 下線部(b)について、フルシチョフの事績に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[45]

- ① 第1次五年計画を開始した。
② グラスノスチ(情報公開)を推進した。
③ イラクに侵攻した。
④ コミンフォルムを解散した。

問4 下線部(c)について、東欧諸国の動向に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[46]

- ① ティーターを指導者とするルーマニアは、自主路線をとった。
② ハンガリーでは、1950年代にハンガリー反ソ運動(ハンガリー事件)が起こった。
③ ユーゴスラヴィアでは、ウレサのもとで自由化が進んだ。
④ チェコスロヴァキアでは、自主管理組「連帯」が組織された。

問5 下線部(d)について、ジョンソン政権の時期に起きた事柄に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[47]

- ① 公民権法が成立した。
② アフリカ連合(AU)が結成された。
③ フィリピン共和国が独立した。
④ 香港が中国に返還された。

問6 下線部(e)に関連して、西ヨーロッパの経済統合の動きに関して述べた文として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[48]

- ① ユーロッパ経済共同体(EEC)は、共通通貨ユーロの使用を開始した。
② 1950年代にヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)が発足した。
③ 1960年代にヨーロッパ共同体(EC)が発足した。
④ マーストリヒト条約の発効により、ヨーロッパ連合(EU)が発足した。

(解答番号 1 ~ 48)

I 次の文章を読み、下の問い(問1~問6)に答えよ。

オリент世界を初めて統一した(1)が前612年に崩壊すると、4王国が分立することになった。このうちイラン高原はメディアによって支配された。前6世紀半ばになると、イラン人(ペルシア人)がメディアを滅ぼして独立し、(2)朝が建てられた。(2)朝は第3代のダレイオス1世の時代に最大領土を実現し、中央集権体制を確立した。(2)朝は(1)とは異なり、服属した異民族に対して寛大な政治を行った。前5世紀前半には、(3)でギリシア人に敗れた。前4世紀になると勢力も衰え、マケドニアの(4)が開始した東方遠征により、(2)朝は滅亡した。この東方遠征により、ギリシア文化とオリエンの諸文化が融合したヘレニズム文化が生み出された。

(4)の死後、その領土は(5)とよばれる部下の有力者たちによって争われることとなった。イランを含む西アジアの領土は、ギリシア系のセレウコス朝に受け継がれた。前3世紀半ばになると、カスピ海の東方にいたイラン系遊牧民がイラン高原に進出し、パルティア(中国名は安息)を建てた。パルティアは前2世紀にはメソポタミアを支配した。3世紀になると、農耕イラン人がパルティアを倒してササン朝を建国し、シリアに侵入してローマと争った。ササン朝では、イラン人の民族的宗教であるゾロアスター教が国教とされた。

この時代には、ゾロアスター教・仏教・キリスト教などを融合した(6)も成立した。(6)は一時保護されたが、その後は弾圧を受けて中央アジアや中国などに広まった。5世紀後半になると、ササン朝は中央アジアの遊牧民(7)の侵襲を受けたが、6世紀にはトルコ系の突厥と結んで(7)を滅ぼした。7世紀になると、ササン朝はイスラーム勢力の攻撃を受けて崩壊した。以後、イランはイスラーム王朝の支配を受けることとなった。

問1 文中の空欄(1)~(7)にあてはまる最も適切なものを、次の①~④のうちからそれぞれ一つ選べ。1~7

- (1) ① ミタンニ王国 ② クシャーナ朝 ③ モノモタパ王国 ④ アッシリア王国
(2) ① セルジューク ② アケメネス(アカイメネス) ③ カロリング ④ ムロウイング
(3) ① カーナティック戦争 ② ポエニ戦争 ③ ペルシア戦争 ④ ペロポネソス戦争
(4) ① アルフレッド大王 ② ベリクレス ③ アレクサンドロス大王 ④ クヌート(カヌート)
(5) ① パルバロイ ② ジェントリ ③ ディアドコイ ④ ベリオイコイ
(6) ① ヒンドゥー教 ② マニ教 ③ ユダヤ教 ④ パラモン教
(7) ① 西夏 ② スキタイ ③ ウィグル ④ エフタル

問2 下線部(a)について、ダレイオス1世に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。8

- ① 各州に知事(サトラップ)をおいて全国を統治した。
② ヘレネスとよばれる監察官を巡回させた。
③ フォロ・ロマーノとよばれる国道を整備した。
④ エゲ海からガンジス川流域にいた地域を支配した。

1

問3 下線部(b)に関連して、ヘレニズム文化に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。9

- ① 世界市民主義(コスモポリタニズム)の思想が知識人の間に広まった。
② 人文主義(ヒューマニズム)とよばれる動きが広まった。
③ エジプトのテル=エル=アマルナは、ヘレニズム文化の中心となった。
④ プラトンは、禁欲を重視するストア派を開いた。

問4 下線部(c)について、ササン朝に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。10

- ① メッカに都をおいた。
② シヤーブル1世が活躍した。
③ ボロブドゥールが建設された。
④ 僧主政治を実施した。

問5 下線部(d)について、ゾロアスター教に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。11

- ① 善(光明)の神ファラオを最高神とする。
② 信徒の共同体(ウマ)が政治的勢力となる。
③ 「アヴェスター」を教典とする。
④ イェルサレムを聖地とする。

問6 下線部(e)に関連して、ササン朝滅亡当時(7世紀半ば)のイスラーム世界に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。12

- ① 正統カリフの時代であった。
② 国土回復運動(レコンキスタ)が起こり、キリスト教徒と争った。
③ スレイマン=モスクが建設された。
④ デリー=スルタン朝が南アジアを治めた。

2

II 次の文章を読み、下の問い(問1~問6)に答えよ。

1世紀、ローマ支配下のパレスチナでキリスト教が成立した。当初、キリスト教徒は反社会集団とみなされて迫害されることがあった。しかし、キリスト教は社会的弱者を中心として信徒を拡大し、(1)が313年に発した(2)によって公認されることとなった。キリスト教はアタナシウス派を正統教とし、4世紀末にはローマ帝国の国教となった。また、教会の組織化が進み、ローマ帝国末期には五本山とよばれる教会のなかでもローマ教会とコンスタンティノープル教会が有力となった。

ローマ帝国の東西分裂後、コンスタンティノープル教会は、ビザンツ帝国のもとで発展した。ローマ教会は西ローマ帝国滅亡後にコンスタンティノープル教会から分離する傾向をみせ始め、ビザンツ皇帝と対抗できる政治勢力を求めて(3)に接近した。800年には、教皇レオ3世が(3)のカルルにローマ皇帝の帝冠を与え、「西ローマ帝国」の復活が宣言されることとなった。

その後、西ヨーロッパ中世界では、ローマ=カトリック教会が普遍的な権威を獲得した。しかし、教会が世俗権力の影響を受けて聖職売買などの弊害が生じると、10世紀以降、フランス中東部の(4)を中心として改革運動が展開された。11世紀には聖職叙任権をめぐる叙任権闘争が起こり、教皇(5)はドイツ王(のち神聖ローマ皇帝)ハインリヒ4世と争った。11世紀末になると、イスラーム勢力に脅かされたビザンツ皇帝の救済を求めて、十字軍遠征が開始されたが、十字軍は最終的に失敗し、教皇の権威はゆるぐこととなった。13世紀末に教皇となったボニファティウス8世は、聖職者への課税に反対しフランス国王フィリップ4世と争った。その後、フィリップ4世は教皇庁を南フランスの(6)に移し、「教皇のバビロン捕囚」とよばれる事態となった。また、教皇がローマに戻った後も複数の教皇が並び立つ事態となり、教会の権威の喪失は決定的となった。15世紀になると、イギリスのウイクリフやペーラム(ボヘミア)のフスも教会を批判したが、彼らは1414~18年に開催されたコンスタンツ公会議で異端とされた。

16世紀前半になると、ドイツの修道士(7)が「九十五条の論題」を発表した。これをきっかけとして、宗教改革が始まり、ローマ=カトリック教会の普遍的権威が否定された。

問1 文中の空欄(1)~(7)にあてはまる最も適切なものを、次の①~④のうちからそれぞれ一つ選べ。13~19

- (1) ① ネルウァ帝 ② コンスタンティヌス帝 ③ テオドシウス帝 ④ テイオクレティアヌス帝
(2) ① 金印勅書 ② 大憲章(マグナ=カルタ) ③ ミラノ勅令 ④ ホルテンシウス法
(3) ① フランク王国 ② シチリア王国 ③ 東ゴート王国 ④ キエフ公国
(4) ① アルハンブラ宮殿 ② 聖ワシーリイ聖堂 ③ クリュニイ修道院 ④ サン=ピエトロ大聖堂
(5) ① オットー1世 ② ウラディミール1世 ③ ヘンリ8世 ④ グレゴリウス7世
(6) ① フイレンツェ ② アヴィニオン ③ グラナダ ④ トゥール=ボワティエ
(7) ① ルター ② エラスムス ③ トマス=アキナス ④ ミュンツァー

3

問2 下線部(a)について、キリスト教に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。20

- ① イエスを救世主(メシア)であるととする。
② 多神教である。
③ 「新約聖書」のみを教典とする。
④ エピクロスら教父が正統教義の確立につとめた。

問3 下線部(b)について、ビザンツ帝国に関して述べた文として適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。21

- ① 7世紀以降、ギリシア語が公用語となった。
② ユスティニアヌス(大)帝が「ローマ法大全」をまとめた。
③ 皇帝はギリシア正教会に強い影響力を及ぼした。
④ エンコミエンダ制を導入した。

問4 下線部(c)について、十字軍に関して述べた文として適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。22

- ① トラヤヌス帝によって十字軍の派遣が提唱された。
② クレルモン宗教会議が召集された。
③ 第4回十字軍によってラテン帝国が建てられた。
④ 巡礼の保護のため、ドイツ騎士団などの宗教騎士団が結成された。

問5 下線部(d)について、コンスタンツ公会議に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。23

- ① 教会大分裂(大シスマ)を終わらせた。
② 百年戦争を終わらせた。
③ フロンドの乱を終わらせた。
④ 三十年戦争を終わらせた。

問6 下線部(e)について、宗教改革に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。24

- ① プロテスタントはトリエント公会議を開催した。
② カール5世は、イギリス国教会を成立させた。
③ カルヴァンは、予定説となえた。
④ フランスにおけるカルヴァン派は、ピューリタンとよばれた。

4

世界史 文系前期

Ⅲ 次の文章を読み、下の問い（問1～問6）に答えよ。

近世のアジアでは、オスマン帝国や清など、広大な領土を持つ諸帝国が繁栄した。

1300年頃に成立したオスマン帝国は、15世紀初めに①ティムール朝との戦いに敗れたものの、その後勢力を回復した。1453年、(1)は②コンスタンティノープル(のちのイスタンブル)を占領し、ビザンツ帝国を滅ぼした。その後、オスマン帝国はさらなる拡大を進め、セリム1世時代の1517年には(2)を滅ぼしてシリアやエジプトを領有し、メッカ(マッカ)とメディーナの保護権を獲得した。続く③スレイマン1世の時代にオスマン帝国は最盛期をむかえ、1538年の(3)でスペイン・ヴェネツィアなどの連合艦隊に勝利して地中海の制海権を獲得した。

一方、この時期の中国東北方では、農牧・狩猟生活を営む女真(女直、満洲人)が明の支配を受けていた。16世紀末に女真の統一に成功した(4)は1616年に建国し、国号を金(後金、アイシン)とした。(4)は軍事・行政組織として(5)を編制し、満洲語を表記するために満洲文字を制作させた。第2代のホンタイジ(太宗)は、1636年に皇帝を称し、国号を清と改めた。(6)の反乱軍によって1644年に④明が滅亡すると、清は北京に入城して遷都した。⑤道は、明の残存勢力を平定して中国皇帝の位を継承し、中国全土を征服した。その後、清は康熙帝・雍正帝・乾隆帝の時代にかけて最盛期をむかえた。清はヨーロッパ文化にも寛容で、布教のために中国を訪れていたイエズス会宣教師を技術者として活用した。しかし、祖先崇拝など中国の儀礼を認めないイエズス会の布教方法を問題視した他の修道会の宣教師がこれを教皇に訴え、(7)が起こった。その後、教皇がイエズス会の布教方法を否定したため、これに反発した清はキリスト教の布教を禁止した。

- 問1 文中の空欄(1)～(7)にあてはまる最も適切なものを、次の①～④のうちからそれぞれ一つ選べ。 [25]～[31]
- [25] (1) ① メフメト2世 ② アブデュルハミト2世
③ アッパヤ1世 ④ パーブル
- [26] (2) ① アユタヤ朝 ② マムルーク朝 ③ ムラービト朝 ④ アイユブ朝
- [27] (3) ① プレヴェザの海戦 ② レバントの海戦
③ サラミスの海戦 ④ アクティウムの海戦
- [28] (4) ① バトウ ② クビライ
③ オゴタイ(オゴタイ) ④ スルハチ
- [29] (5) ① 猛安・謀克 ② 兩班 ③ 八旗 ④ 郷紳
- [30] (6) ① 玄宗 ② 義浄 ③ 李自成 ④ 洪秀全
- [31] (7) ① 南北問題 ② 典札問題 ③ 文化闘争 ④ 洋務運動

- 問2 下線部(a)について、ティムール朝に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [32]
- ① イブンハルドゥーンによって建てられた。
② サマルカンドを都とし文芸を保護した。
③ 南宋を滅ぼした。
④ 『千夜一夜物語』がまとめられた。

- 問3 下線部(b)について、コンスタンティノープル(のちのイスタンブル)の位置として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [33]



- 問4 下線部(c)について、スレイマン1世に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [34]
- ① イクター朝を創始した。
② ロシアとネルチンスク条約を結んだ。
③ ミドハト憲法(オスマン帝国憲法)を制定した。
④ ウィーン包圍戦(第1次)を行った。

- 問5 下線部(d)について、明の社会や文化に関して述べた文として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [35]
- ① 景德鎮で陶磁器が盛んに生産された。
② 王守仁(王陽明)が陽明学を広めた。
③ 税や労役を銀に一化する一条鞭法を実施した。
④ 晋品制とよばれる身分制度を基盤にしていた。

- 問6 下線部(e)に関連して、清の社会や文化に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [36]
- ① 村藩行政制度として恩賞地制度が創始された。
② 税制として兩税法が採用された。
③ 白居易が文学の分野で活躍した。
④ 考証学が発達した。

Ⅳ 次の文章を読み、下の問い（問1～問6）に答えよ。

20世紀初頭、ヨーロッパ列強はイギリス・フランス・ロシアによる三国協商と、ドイツ・オーストリアを中心とする三国同盟に分かれ、対立していた。①バルカン半島ではこれらの列強の利害が対立し、緊張が高まった。こうして1914年のサラエヴォ事件をきっかけとして、第一次世界大戦が始まった。開戦後間もなく、ドイツは1914年9月の(1)でフランスに進軍を阻止された。戦争は予期せぬ長期戦となり、各国は総力戦体制を構築した。また、協商国(連合国)側は、秘密条約にもとづく②戦時外交を展開し、局面の打開をはかった。当初中立の立場をとったアメリカ合衆国は、1917年にドイツが無制限潜水艦作戦の実施に踏み込んだことをきっかけとして、協商国(連合国)側で参戦した。同年、ロシアでは革命が起こり、史上初となる社会主義政権が成立した。同政権は、1918年3月に賠償金などを条件にドイツ・オーストリア側と(2)を結んで講和した。同年11月、協商国(連合国)側の優位が崩せないままドイツ革命が起こってドイツ帝国は崩壊し、成立した臨時政府が降伏して第一次世界大戦は終結した。

1919年1月から開かれた第一次世界大戦の講和会議であるパリ講和会議では、アメリカ合衆国大統領(3)が1918年に発表した「十四カ条」が講和の原則とされた。1919年6月に連合国とドイツが結んだヴェルサイユ条約では、賠償金の支払いや植民地の放棄、軍備制限が定められたほか、ドイツはフランスに(4)を割譲した。また、1920年には史上初の国際平和機構である③国際連盟が設立された。ヴェルサイユ条約などの一連の講和条約や国際連盟などによって形成されたヨーロッパの国際秩序は、ヴェルサイユ体制とよばれている。

第一次世界大戦後のドイツでは、(5)が成立し、社会民主党のエーベルトが初代大統領に就任した。ドイツは賠償金支払いに苦しみ、賠償金支払い遅延を口実としたフランスは、ルール工業地帯を占領した。ドイツはストライキなどによってこれに抵抗したため、空前的インフレーションが起った。この混乱はシュレーゼンによって収拾され、フランス外相となった(6)の主導でルールからの撤兵が実現した。その後、国際協力が進展したものの、1929年に始まった世界恐慌をきっかけとして国際協力の気運は衰えることになった。イギリス・フランス・アメリカ合衆国など、広大な植民地や市場を持つ国々は、(7)の構築を進め、域内産業を守ろうとした。一方、広大な植民地を持たない④ドイツ・イタリア・日本などの国々は、対外侵略によって状況の打開をはかり、1939年には、第二次世界大戦が勃発することとなった。

- 問1 文中の空欄(1)～(7)にあてはまる最も適切なものを、次の①～④のうちからそれぞれ一つ選べ。 [37]～[43]
- [37] (1) ① ブラッシーの戦い ② ワーテルローの戦い
③ マルスの戦い ④ ミッドウェー海戦
- [38] (2) ① サンステファノ条約 ② ブレストリトフスク条約
③ トルコマンチャーイ条約 ④ イリ条約
- [39] (3) ① マッキンリー ② ジャクソン ③ モンロー ④ ウィルソン
- [40] (4) ① アルサス・ロレーヌ ② ダンフィヒ ③ シュレジエン ④ ヴァイマル共和国
- [41] (5) ① 民族解放戦線 ② プロイセン公国 ③ 第三共和政
- [42] (6) ① グラッドストーン ② マットウィニー ③ リアマン ④ ベタン
- [43] (7) ① ワルシャワ条約機構 ② 自由貿易体制 ③ 善隣外交 ④ ブロック経済

- 問2 下線部(a)について、第一次世界大戦前のバルカン半島情勢に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [44]
- ① セルビアは、青年トルコ革命に乗じてボスニア・ヘルツェゴヴィナを併合した。
② ドイツの後援により、セルビア・ギリシアなどがバルカン同盟を成立させた。
③ 第1次バルカン戦争で、ロシアはブルガリアを併合した。
④ バルカン半島は、「ヨーロッパの火薬庫」とよばれた。

- 問3 下線部(b)について、第一次世界大戦時の戦時外交に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [45]
- ① フランスは、「平和に関する布告」を発表した。
② イタリアは、オスマン帝国とロンドン条約を秘密裏に結んで参戦した。
③ アメリカ合衆国は、サイクス・ピコ協定を結んだ。
④ イギリスは、ユダヤ人に対してバルフォア宣言を表明した。

- 問4 下線部(c)について、国際連盟に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [46]
- ① 本部はアメリカ合衆国のニューヨークにおかれた。
② 安全保障理事会に強い権限が与えられた。
③ 設立当初、敗戦国ドイツの参加は認められなかった。
④ 紛争解決のため、経済制裁や軍事制裁を行うことができた。

- 問5 下線部(d)について、第二次世界大戦前のドイツ・イタリアの動向に関して述べた文として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [47]
- ① イタリアはエジプトに侵攻し、併合した。
② イタリアは日本・ドイツとの間で、三国防共協定を結んだ。
③ ドイツでは全権委任法が成立し、政府に立法権がゆだねられた。
④ ドイツでは、ユダヤ人排斥を進める政党が力を持った。

- 問6 下線部(e)について、第二次世界大戦に関して述べた文として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [48]
- ① イタリアでは、フランコ将軍による内戦が起こった。
② 1941年に独ソ戦が始まった。
③ ヤルタ会議で、戦後のドイツに関する協議などがなされた。
④ 日本はポツダム宣言を受諾し、無条件降伏した。

(解答番号 1 ~ 48)

I 次の文章を読み、下の問い(問1~問6)に答えよ。

前235年頃に生まれたスキピオは、カルタゴとの間に起こった(1)で活躍したローマの将軍である。(1)に際し、カルタゴの将軍(2)はアルプス山脈をこえてイタリアに侵入し、前216年のカンネーの戦いでローマ軍を破った。その後、スキピオが率いるローマ軍は北アフリカに上陸し、前202年のザマの戦いで(2)を破った。なお、スキピオの孫である小スキピオは、前146年にカルタゴを滅ぼしたことで知られる。

前100年に生まれたカエサルは、自作農の再建をはかる(3)の改革失敗後に入軍した。[内乱の1世紀]の時代に活躍した名門ユリウス家出身のローマの政治家・軍人である。カエサルは、元老院に対抗するため、前60年に私的な政治同盟を結んで第1回三頭政治を始めた。また、前58年からガリア遠征を行い、これに成功して権力を固めた。カエサルは前46年に独裁官(ディクタトル)、前44年には終身独裁官となった。このほか、カエサルは、文化的にもさまざまな功績を残した。しかし、前44年にブルトゥス共和派によって暗殺された。

前63年に生まれた(4)は、カエサルの養子となったローマの政治家である。(4)は、前43年にアントニウスらとともに第2回三頭政治を行った。その後、(5)エジプトの女王クレオパトラと結んだアントニウスを前31年のアクティウムの海戦で撃破し、地中海を平定した。前27年には元老院から(6)(尊厳者)の称号を与えられ、事実上の帝政を開始した。(6)から(5)五賢帝の時代にかけた約200年間の時代は、「ローマの平和」(パクス・ロマーナ)とよばれる最盛期となった。(6)の時代には、ラテン文学の黄金期をむかえた。

3世紀に生まれたディオクレティアヌス帝は284年に即位し、(7)専制君主政を開始したローマ皇帝である。ディオクレティアヌス帝は、四帝分治制(テトラキア)を実施して(7)の混乱を収拾した。また、皇帝の権威を高めるため皇帝を崇拜し礼拝をさせ、これを拒否する(8)キリスト教の信徒を迫害した。

問1 文中の空欄(1)~(7)にあてはまる最も適切なものを、次の①~④のうちからそれぞれ一つ選べ。(1)~(7)

- 1 (1) ① ポエニ戦争 ② ベルシア戦争 ③ パラ戦争 ④ ペロポネソス戦争
2 (2) ① オドアカル ② アッティラ ③ テミストクレス ④ ハンニバル
3 (3) ① グラックス兄弟 ② ビピン
③ ペインストラトス ④ プトレマイオス
4 (4) ① ソロン ② ペリクレス ③ オクタウィアヌス ④ フィリッポス2世
5 (5) ① ファーティマ朝 ② プトレマイオス朝
③ セレウコス朝 ④ グプタ朝
6 (6) ① コロヌス ② アウグストゥス ③ プレプス ④ サトラップ
7 (7) ① 春秋時代 ② 大開帳時代 ③ 軍人皇帝の時代 ④ 大空位時代

問2 下線部(a)について、「内乱の1世紀」に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(8)

- ① デロス同盟が結成された。
② 十二表法が制定された。
③ スバルタクスが大反乱を起こした。
④ エンコミンダ制が発達した。

問3 下線部(b)について、五賢帝に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(9)

- ① 皇帝を選出する七選帝侯を下に置いた。
② トラヤヌス帝の時代にローマ帝国の領土が最大となった。
③ マルクス・アウレリウス・アントニヌス帝は、ユリウス暦を制定した。
④ コンスタンティヌス帝は、アレクサンドリアを首都とした。

問4 下線部(c)に関連して、ローマ時代の文化に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(10)

- ① ホメロスが「イリアス」などを残した。
② ウェルギリウスが「エネイシ」を著した。
③ プラトンやアリストテレスなど哲学者が活躍した。
④ ダンテが「神曲」を著した。

問5 下線部(d)について、ディオクレティアヌス帝が開始した専制君主政に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(11)

- ① 専制君主政は、ドミナトゥスとよばれた。
② 護民官が政治の中心的役割を果たした。
③ 根拠議会が召集された。
④ 民会が多数決で国の政策を決定した。

問6 下線部(e)について、ローマ時代のキリスト教に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(12)

- ① ミラノ勅令で公認された。
② ナントの王令で信仰の自由が与えられた。
③ スコラが教会の権威を確立させた。
④ サン=ピエトロ大聖堂が改築された。

文系前期 世界史

1

2

II 次の文章を読み、下の問い(問1~問6)に答えよ。

西アジア・北アフリカなどの国々や、かつてイスラム勢力の支配下におかれた地域などでは、ムハンマドが創始したイスラム教に関連する世界遺産がみられる。また、イスラム王朝の都や、重要な都市なども世界遺産として登録されている。

かつてイスラム勢力の支配下におかれた(1)イベリア半島では、(1)の都として知られる「コルドバ歴史地区」が世界遺産に登録されている。また、イベリア半島最後のイスラム政権であるナスル朝の都(2)は、「(2)のアルハンブラ、ヘネラーレフェ、アルバイシン地区」として世界遺産に登録されている。ナスル朝の宮殿兼城塞であるアルハンブラ宮殿は、スペイン=イスラム建築の代表とされる。アフリカでは、(3)アイユーブ朝やマムルーク朝の都であった「カイロ歴史地区」が世界遺産に登録されている。また、北アフリカの先住民であった(3)が建てたムラービト朝やムワヒド朝の都とされた「マラケシュ旧市街」も世界遺産に登録されている。

西アジアでは、オスマン帝国の都であった「イスタンブール歴史地区」や、「世界の半分」とたえられた(4)サファヴィー朝の都に設けられた「イсфаハーンのイマーム広場」などが世界遺産に登録されている。インドでは、インド初のイスラム王朝となった(4)の時代に建設された「デリーのクトゥブミナールとその建造物群」や、(5)ムガル帝国の時代に建造されたインド=イスラム建築の代表「(5)」などが世界遺産に登録されている。

西アジアやアフリカでは、民族や宗教、領土をめぐる戦争や紛争が頻発している。これらの地域の世界遺産のなかには、危機にさらされている世界遺産リスト(危機遺産リスト)に登録されているものもある。ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の聖地である「(6)の旧市街とその城壁群」や、西アフリカのニジェール川流域の交易都市であった「(7)」などが危機遺産に該当する。

問1 文中の空欄(1)~(7)にあてはまる最も適切なものを、次の①~④のうちからそれぞれ一つ選べ。(13)~(19)

- 13 (1) ① マウリヤ朝 ② カペー朝 ③ 後ウマイヤ朝 ④ ヴァルダナ朝
14 (2) ① サマルカンド ② グラナダ ③ リスボン ④ バタヴィア
15 (3) ① フン人 ② ベルベル人 ③ ケルト人 ④ エトルリア人
16 (4) ① 奴隸王朝 ② セルジューク朝 ③ カラハン朝 ④ スコトイ朝
17 (5) ① ジグジャラト ② ハギアソフィア聖堂 ③ タージマハル ④ 円明園
18 (6) ① メッカ ② バグダード ③ メディナ ④ イェルサレム
19 (7) ① ミケーネ ② メロエ ③ マチュピチュ ④ トンプトゥウ

問2 下線部(a)について、ムハンマドに関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(20)

- ① トゥール・ボリウィエ間の戦いに勝利した。
② 「世界史序説」を著した。
③ 唯一神アッラーの言葉を預けられた預言者とされる。
④ 十字軍を撃退した。

問3 下線部(b)について、イベリア半島の歴史に関して述べた文として適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(21)

- ① 5世紀にフランク王国が建てられた。
② 12世紀のトレードでは、アラビア語文献が本格的にラテン語に翻訳された。
③ キリスト教徒による国土回復運動(レコンキスタ)が展開された。
④ ポルトガルは、エンリケのもとで各地に探検隊を派遣した。

問4 下線部(c)について、アイユーブ朝に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(22)

- ① サラーフ=アッディーン(サラディン)によって建てられた。
② シア派の王朝であった。
③ 十分の一税を取り立てた。
④ タラス河畔の戦いで宋に勝利した。

問5 下線部(d)について、サファヴィー朝に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(23)

- ① アウラングゼーブの時代に最盛期をむかえた。
② シア派の十二イマーム派を信仰した。
③ 清とメルセン条約を結んだ。
④ レザー=ハーンによって倒された。

問6 下線部(e)について、ムガル帝国に関して述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。(24)

- ① イギリスによって西欧化改革(タンジマート)が進められた。
② 大陸封鎖令を出しイギリスとの貿易を禁じた。
③ カーナティック戦争でフランスに敗れた。
④ アクバルが人頭税(ジズヤ)を廃止した。

3

4

Ⅲ 次の文章を読み、下の問い(問1～問6)に答えよ。

1814～15年、^①ウィーン会議が開催され、ナポレオン戦争後の国際秩序について話し合われた。ヨーロッパ各国では、フランス革命とナポレオン戦争の影響により、国民国家の形成を求めるナショナリズムの動きがもたらされた。しかし、ウィーン会議の結果成立したウィーン体制では、この動きは抑圧された。ウィーン会議の結果(1)が復活したフランスでは、国王が反動政治を展開して国民の反発を招いた。1830年には、^②七月革命が起こり、自由主義的とされたルイ・フィリップの下で七月王政が樹立された。七月王政下のフランスは、制限選挙により一部の富裕層が優位を占めたため、選挙権拡大を求める動きが起こった。そして1848年、二月革命が起こって七月王政は倒れ、臨時政府が立てられた。臨時政府には社会主義者のルイ・ブランなどが参加したが、男性普通選挙による国民議会選挙の結果、穏健共和派政府が成立した。同年12月の大統領選挙に当選したルイ・ナポレオンは、クーデタによって1851年に権力を握り、1852年の国民投票で皇帝となってナポレオン3世を称した(第二帝政)。ナポレオン3世は、^③クリミア戦争介入やインドシナ出兵など積極的な対外政策を行った。しかし、1870年におこった(2)に敗れ、第二帝政は崩壊した。

イギリスでは、19世紀前半に自由主義的改革が進展した。1846年にはコブデンらの運動により(3)が廃止され、1849年には航海法も廃止された。19世紀後半にはヴィクトリア女王の治世下で、^④グラッドストーンが率いる自由党と、(4)が率いる保守党が交代し政権を担当する典型的な議院政党政行われた。ドイツでは、プロイセン王国の主導によって統一が進められた。1834年には(5)を発足させ、経済的統一がめざされた。1862年にプロイセン王国首相となったビスマルクは軍備拡張を実行し、ドイツ統一の主導権をめぐって起こった1866年の(6)に勝利した。そして1867年にはプロイセンを盟主とする北ドイツ連邦が結成され、その一方で、同年(7)が成立した。その後、プロイセンはフランスとの戦争に勝利して1871年にドイツ帝国を樹立し、^⑤ビスマルクが帝国宰相となった。

問1 文中の空欄(1)～(7)にあてはまる最も適切なものを、次の①～④のうちからそれぞれ一つ選べ。 [25]～[31]

- [25] (1) ① スチュアート朝 ② プルボン朝 ③ ウィンザー朝 ④ テューダー朝
 [26] (2) ① ジャックリーの乱 ② フレンチインディアン戦争
 ③ フス戦争 ④ ドイツ＝フランス(独仏)戦争(プロイセン＝フランス戦争)
 [27] (3) ① 工場法 ② 印紙法 ③ 穀物法 ④ 万民法
 [28] (4) ① アトリー ② デズレリー
 ③ ウォルポール ④ ジョゼフ＝ペンデルトン
 [29] (5) ① ドイツ同盟 ② カルマル同盟 ③ ハンザ同盟 ④ 四国同盟
 [30] (6) ① オーストリア継承戦争 ② 第1次バルカン戦争
 ③ プロイセン＝オーストリア(普墺)戦争 ④ 北方戦争
 [31] (7) ① ポーランド ② チェコスロヴァキア
 ③ スイス連邦 ④ オーストリア＝ハンガリー帝国(二重帝国)

問2 下線部(a)について、ウィーン会議が開催された地として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [32]



問3 下線部(b)について、七月革命とその影響に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [33]

- ① ベルギーがオランダから独立した。
 ② フランス国王ルイ16世が亡命した。
 ③ フランスでは人権宣言が出された。
 ④ 露布政策が進められた。

問4 下線部(c)について、クリミア戦争に関して述べた文として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [34]

- ① 南下政策を進めたロシアがオスマン帝国に宣戦した。
 ② イギリス・フランスは、オスマン帝国を支援した。
 ③ 講和条約としてラテノフ条約が結ばれた。
 ④ クリミア戦争後、ロシアでは農奴解放令が出された。

問5 下線部(d)について、グラッドストーンに関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [35]

- ① アイルランド自治法案を議会に提出したが、否決された。
 ② パナマ運河会社の株式を買収した。
 ③ 日英同盟を結んだ。
 ④ イギリス＝オランダ(英蘭)戦争を起こした。

問6 下線部(e)について、ドイツ帝国成立後のビスマルクの動きに関して述べた文として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [36]

- ① 文化闘争でイスラム勢力を抑圧した。
 ② オーストリアやロシアと三帝同盟を結んだ。
 ③ ロシア＝トルコ戦争後、調停のためベルリン会議を開催した。
 ④ ロシアと再保障条約を結んだ。

Ⅳ 次の文章を読み、下の問い(問1～問6)に答えよ。

第二次世界大戦に敗れた日本は、アメリカ軍による事実上の単独占領下におかれた。東西冷戦が激化するなか、1951年にサンフランシスコ平和条約を結んで日本は独立を回復した。同時に(1)を結び、日本はアメリカ合衆国を中心とする西側陣営に属することとなった。

第二次世界大戦で戦勝国となった中国は、5大国の一つとなって国際的地位を高めた。国内では国民党と共産党の争いが再開され、農村で勢力を拡大した共産党が国民党に勝利した。1949年10月、毛沢東を主席、(2)を首相として中華人民共和国の成立が宣言された。一方、国民党を率いる蔣介石は、1949年12月に台湾に逃れ、中華民国政府を維持した。中国は、1950年に中ソ友好同盟相互援助条約を結び、社会主義陣営に属する姿勢を明らかにした。しかし、1950年代後半になると、^①中ソ対立が表面化することとなった。国内では、1958年から「大躍進」運動を開始して社会主義建設をはかった。しかし、無理な政策であったことや凶作のため、多くの犠牲者が出て失敗した。「大躍進」の失敗によって求心力が低下した毛沢東は、1966年からプロレタリア文化大革命を展開して権力の奪回をはかった。これによって政治や社会は混乱し、多くの犠牲者が出た。1970年代になると、アメリカ合衆国との関係改善が進み、1972年には、^②ニクソン大統領が中国を訪問した。1977年、プロレタリア文化大革命の終結が宣言されると、(3)を中心とする指導部は政治・経済の改革を推進した。1989年、(4)では中国共産党が武力によって民主化デモを弾圧したものの、1990年代の中国は改革開放路線を継続し、1997年には、^③香港が返還された。

第二次世界大戦後の朝鮮半島では、北緯38度線を境として北をソ連が、南をアメリカ合衆国が占領下においた。1948年には、南部に李承晩を大統領とする大韓民国(韓国)が、北部に(5)を首相(1972年以降は主席)とする朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が成立した。1950年には、^④朝鮮戦争が起こり、1953年に休戦協定が成立したものの、南北の分断が固定化されることとなった。その後、大韓民国では、クーデタによって政権を握った朴正熙が大統領となり、1965年には(6)を締結して日本と国交を正常化した。1980年には民主化を求めた民衆が、軍事政権によって武力弾圧された(7)が起こり、これを鎮圧した全斗煥が大統領となった。1987年に選挙によって大統領となった盧泰愚の時代には、ソ連や中国との国交樹立や、北朝鮮との同時国連加盟が実現した。

問1 文中の空欄(1)～(7)にあてはまる最も適切なものを、次の①～④のうちからそれぞれ一つ選べ。 [37]～[43]

- [37] (1) ① 日米修好通商条約 ② 九カ国条約 ③ 日米和親条約 ④ 日米安全保障条約
 [38] (2) ① 陳独秀 ② 汪兆銘 ③ 劉少奇 ④ 周恩來
 [39] (3) ① 康有為 ② 鄧小平 ③ 張學良 ④ 孫文
 [40] (4) ① 五・四運動 ② 洋務運動 ③ 天安門事件 ④ 西安事件
 [41] (5) ① 金日成 ② 金玉均 ③ 大院君 ④ 李舜臣
 [42] (6) ① 下関条約 ② 日韓基本条約 ③ 日韓協約 ④ 日朝修好条規
 [43] (7) ① 江華島事件 ② 盧溝橋事件 ③ 光州事件 ④ 九・三〇事件

問2 下線部(a)について、台湾の歴史に関して述べた文として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [44]

- ① 17世紀にポルトガルが植民地化した。
 ② 日清戦争後、日本に割譲された。
 ③ 康熙帝の時代に清の領土に組みこまれた。
 ④ 明治政府が台湾に出兵し、清に脅威を与えた。

問3 下線部(b)について、中国(中華人民共和国)とソ連との対立の要因に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [45]

- ① 中国は、ソ連のアメリカ合衆国など西側との平和共存政策を批判した。
 ② 中国は、ソ連の第1インターナショナルを批判した。
 ③ ソ連は、中国の北伐を批判した。
 ④ ソ連は、中国の門戸開放を批判した。

問4 下線部(c)について、ニクソン大統領の事績に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [46]

- ① オスロ合意を成立させた。
 ② ニューディールとよばれる政策を実行した。
 ③ イラク戦争を起こした。
 ④ ベトナム(パリ)和平協定を締結した。

問5 下線部(d)について、香港の歴史に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [47]

- ① 1842年、南京条約によってイギリスに割譲された。
 ② 1842年、南京条約によってフランスに割譲された。
 ③ 1842年、天津条約によってイギリスに割譲された。
 ④ 1842年、天津条約によってフランスに割譲された。

問6 下線部(e)について、朝鮮戦争に関して述べた文として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [48]

- ① 北朝鮮の侵攻により始まった。
 ② ソ連を中心とする国連軍が派遣された。
 ③ 中国は北朝鮮を支援するため、人民義勇軍を派遣した。
 ④ 日本では警察予備隊(のちの自衛隊)が設置された。